

2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [つくば市立春日学園義務教育学校] 担当教諭名 [齊藤 夏輝] (7年1-4組 129名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Ming Der Junior High School] 担当教諭名 [Eva Wang]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	SDGs、国際協働学習	9
	学級活動	自国文化の良さ・他国の良さを認め発表しよう 学級発表<学年テーマ:SDGs>	9
	英語	自己紹介・ビデオレターを作成しよう	4
	社会	世界の様々な地域の調査(台湾)	3

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	すべての人に健康と福祉を・住み続けられる街づくりを
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	住みやすい街、地域、国へとなるには、国が違っていても、身近なことから課題意識をもち、行動していくことが大切であると思う。だからこそ、私たちは常に身近なことに目を向け、自ら行動していきたい。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 海外の生徒たちと共通のテーマのもと、一つの作品を仕上げられたという達成感を得た。 SDGsについて一人ひとりが研究・調査した内容をレポートにまとめ、一人一台端末を使い翻訳ソフトを駆使してやり取りを行うことができた。クラス内や相手校に対して発表する機会を多く与えたことで、SDGsで求める願いについて理解を深めることができた。 地元つくばの良さ・魅力を再発見し、他国にも同様の良さ・魅力があることに気付いた。取り組みの成果は、研究発表会を通して市内の小中学校に発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒間の学習意欲をより引き出すために、取り組み状況についてFORUMや学校ホームページで積極的に発信すべきであった。 生徒同士の交流をより活発にするために、ICT機器に習熟して、もっと容易に言葉の壁を乗り越え、TV会議等を気軽に展開すべきであった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 文化の違い、学校生活の違い、感染症対策の違いなど、違いに目を向ける生徒が多かった。 海外と交流するための言語は英語がすべてではないと実感した。 台湾の国内事情や歴史について興味をもって調べようとする意欲が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流には英語だけではなく、他の言語も必要であるという現実を直視し、多言語理解の必要性を痛感した。 台湾について様々な教科で取り上げて指導する機会を得たことで、教材づくりの幅が広がった。 生徒の未知の分野に対する関心の高さと課題追究への意欲の高さに驚いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> つくば市の魅力再発見 台湾について調べよう 自己紹介文の作成 自己紹介ビデオレター作成 TV会議(自己紹介)① 	交流国台湾についての興味関心を高め、調査することで親しみを感じていることがうかがえた。台湾へ送信することを前提にした紹介文は、相手意識があることで情報量が多くなり表現力が高まった。	総合3 社会3 英語4
共有 相手と意見交換	7月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsとは？ 夏休み課題:SDGsレポート作成 レポート発表会、各クラスで話し合い クラステーマでの調べ学習 TV会議(テーマごとに情報交換)② 	全員が一人ひとり、差別のない街づくりについて、つくば市において関連する事柄を調べ、自分の考えを積極的に発表できた。	学活1 総合3 学校行事6
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会発足 TV会議(テーマごとに情報交換)③ 交通、医療、公共施設、環境に分かれてグループ協議を行った。 	図案・構図については、自動翻訳機を用いてのやり取りであったが、台湾の生徒と交流できたことに感動していた。特に国歌への思いが強いことに驚いていた。	学活1 総合2
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画図案考案・作成 TV会議(図案交換)④ 描いてみようとした「持続可能な未来都市つくば」 	テーマにもとづいたそれぞれの思いが形になるのを見ながら、楽しんで制作していた。	総合1 放課後6
評価 振り返り 自己評価	3月	作品鑑賞交換・記念撮影	全体ができあがり、それぞれの思いが形となって表現できた。成就感を味わえた。作品を鑑賞し写真撮影に臨むとともに、テーマへの理解を深めた。	学活1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	日本の良さについて地元つくば市を題材にレポートし発表できていたため。数値を明らかにすることにより、具体的に日本やつくば市が何においてどれくらい秀でているのかを述べていた。また、台湾の文化について興味をもって日本との共通点や相違点に着目しながら調べ、発表することができていたから。
主体的に考え行動する力	4	発表の際には、生徒主体に、発表内容や方法について相手に伝わりやすいような発表方法を話し合い、意識していたから。また、常により良い社会にするために自分たち規模でできることはなにかを考え話し合っていたため。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	日本と台湾を比較することで、相違点と類似点を項目ごとに整理することを通して、調査したことを可視化したシートを用いる姿があり、意見交流後の振り返り内容が深まっていた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	様々な場面で他者の思いを受け入れながら意見交換していたから。同じ自校の生徒と相手校の生徒で協働し、一枚の絵を完成させた事実喜びを共有できていた。
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	壁画構図について、お互いの国の比較できる点、自国の現在と未来について考えながら、対比的にあらわすことができていた。